



2014年7月8日発行

# 赤レンガ通信

〒272-0834 千葉県市川市国分 7-12-5 (NPO 法人いちかわ市民文化ネットワーク内)  
TEL&FAX 047-711-8813  
Eメール akarenga\_2010@yahoo.co.jp HP <http://ichibun.net/akarenga>

「赤レンガをいかにす会」

会の運営は、皆さんのカンパで支えられています。ご支援をよろしくお願いいたします。 No.8号外

## 第7回いちかわ市民ミュージカル

# 月の雫 ~ 市川イートーボ物語 ~

## 「赤レンガ建築物」がミュージカルになります！

作・作詞・演出 吉原廣(赤レンガをいかにす会代表)

皆さん、「いちかわ市民ミュージカル」をご存知でしょうか？

2002年8月より、2年に一度、子どもからお年寄りまでの三世代市民が一緒になって、ミュージカルを創造する喜びとともに、夏の4ヶ月に及ぶ長い暑い熱い稽古を通して、「ここに一つの地域が生まれる」と言われるほどの豊かな交流を楽しんでいます。

また、これまでの出演者・スタッフ・協力者は4,000人以上、観客数は30,000人を越えて、その規模と舞台成果への高い評価を受けて、市川市民の誇りとも言える市民芸術文化活動に発展しています。

「いちかわ市民ミュージカル」は、「私たちの住む町をもっと知りたい。新しい地域愛を育みたい」という思いから、これまで中山競馬場や行徳富士や袖掛けの松など、市川にまつわる場所や事柄を素材にオリジナル・ミュージカルを上演してきました。

今回の公演では、170名の市民出演者とともに、市川国府台の「赤レンガ建築物」を舞台に、我が愛する宮沢賢治ワールドをいっばいに、「生と死」をテーマに叙情的で活力のあるミュージカルを生み出そうと思います。

満月の夜、赤レンガから静かなピアノの調べが奏でられ、その音色は市川の空を覆い、心寂しい人たちを誘い込みます。そこには“怪人”を始めとする軍人亡霊が、そしてどういふ訳か宮沢ケンジ君や井上ヒサシ君も住んでいて、「生と死の葛藤」を繰り広げるといふドラマになります。



6月7日の見学会の開催時に、たくさんに新聞が赤レンガの紹介記事を掲載してくれました。また群馬の富岡製糸場が世界文化遺産に登録されたのを契機に、同じ時期に同じフランス積みで建てられた文化財的価値の高い我が赤レンガ建築物がにわかに脚光を浴びてきて、水野文也県議の県議会質問に取り上げられました。

今回の公演では、地元の自治会や学校関係者の方々にも協力いただいて、多くの市民の方に赤レンガの存在を知っていただければと願っています。

ミュージカルとしてもとても面白い作品になっています。ぜひご覧いただきますようご案内申し上げます。チケットのお申し込みは、チラシをご覧ください。

日時:8月31日(日) 12時30分&16時30分 2回公演(上演時間2時間20分)

会場:市川市文化会館大ホール

主催:いちかわ市民ミュージカル実行委員会

共催:市川市文化振興財団

裏面に続く

## トピックス1

# 屋根瓦にビニールシートが被されました！

3年前の東日本大震災の影響で屋根瓦の一部が崩れて、内部にまで雨漏りが浸透する事態になっていました。赤レンガをいかす会では、早急に応急修理をするよう千葉県に要請していましたが、この度、屋根の崩壊部分に白いビニールシートが被せられているのを確認しました。

県に問い合わせたところ、「見学会実施後に保全対策として応急処理しました」との回答でした。まずは一安心です。それにしても一緒に対策を話し合っていた関係なのに、行政はどうしてこういうことを知らせてくれないのか不思議でなりません。



## トピックス2

# 千葉県議会で質疑されました！

6月18日の千葉県議会で、水野文也議員（みんなの党）により「赤レンガの保存」をめぐる質問があり、県からの回答がありました。その要旨を紹介します。

水野質問 ①旧血清研究所跡地にある赤レンガ倉庫について、文化財的価値が大きいと考えられるが、今後の取り扱いについて県の見解はどうか？

健康福祉部回答 ①旧血清研究所の残余財産の一つである赤レンガ倉庫については、平成23年度に建築関係の専門家に文化財的価値の調査を依頼し、「西洋のレンガ積み工法をいかに消化していたかを示す、技術史的な意味のある建築物」との評価でした。

水野要望意見 ②将来的に登録文化財に指定されればと思うので、管理する健康福祉部並びに教育庁にも要望する。

健康福祉部回答 ②旧血清研究所の施設については、今後の対応について総合的に検討しているところであり、保全については、警備や除草等必要な維持管理を行っているところです。

### 質疑のポイント

- 回答で「保全」という言葉が公式に確認されたことは重要です。
- 「除草等の必要な維持管理」とあるので、建物を壊す蔦の木の根元を切ることや傍のイチョウの大木の剪定等を要望していこうと思います。

## トピックス3

# 新しい‘観光資源’にしよう！

赤レンガ建築物の全面的な保存と再生利用対策に関しては、早急な結論が出ないことは承知していますが、だからといってそのまま放置するばかりではなんとも忍びないことです。

「赤レンガをいかす会」では市民の声を集めて、その有効再生保存対策を検討中です。

当面の対策として、江戸川下流域の豊かな環境や市川市民の散策コースとなっている‘水と緑の回廊’とも連携させて、「観光立県ちば」にふさわしい、新しい‘観光資源’としての利用があるのではないかと提起していこうと思います。

素朴なつくりではありますが、富岡製糸場に負けない貴重な文化財です。市民が自由に眺めて楽しむ光景が実現できればいいですね。